



キチジ オホーツク海南部 令和4年度資源評価結果

生物学的特性

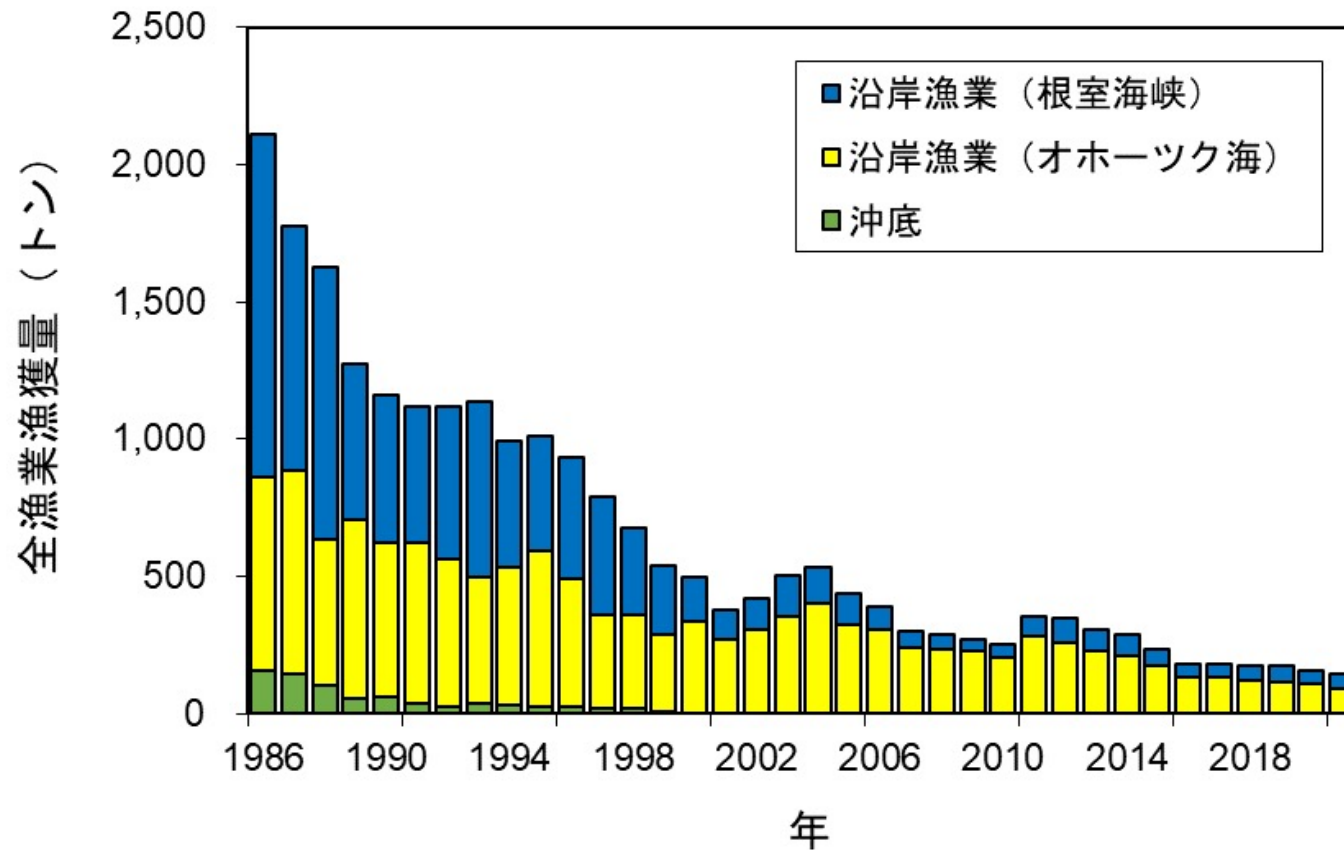


生物学的特性

- 寿命：不明
- 成熟開始年齢：不明
- 産卵期・産卵場：
北海道沖の産卵盛期は4～5
月で産卵場は不明、サハリ
ン東岸の産卵期は5～10月で
産卵場は水深400～1,100m
- 食性：
魚類、クモヒトデ類など
- 捕食者：
不明

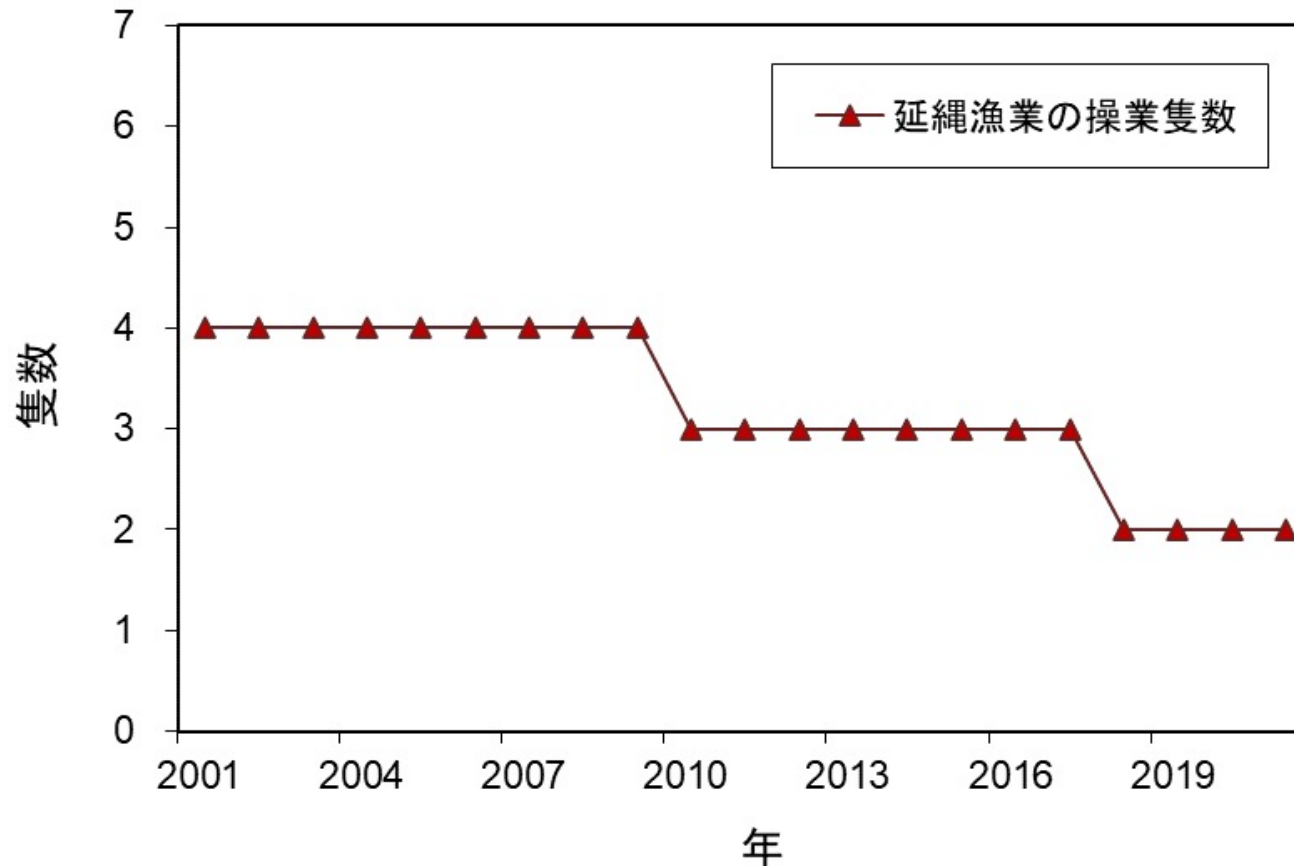
- 主な分布水深（漁場水深）は300～1,200m

漁獲の動向①



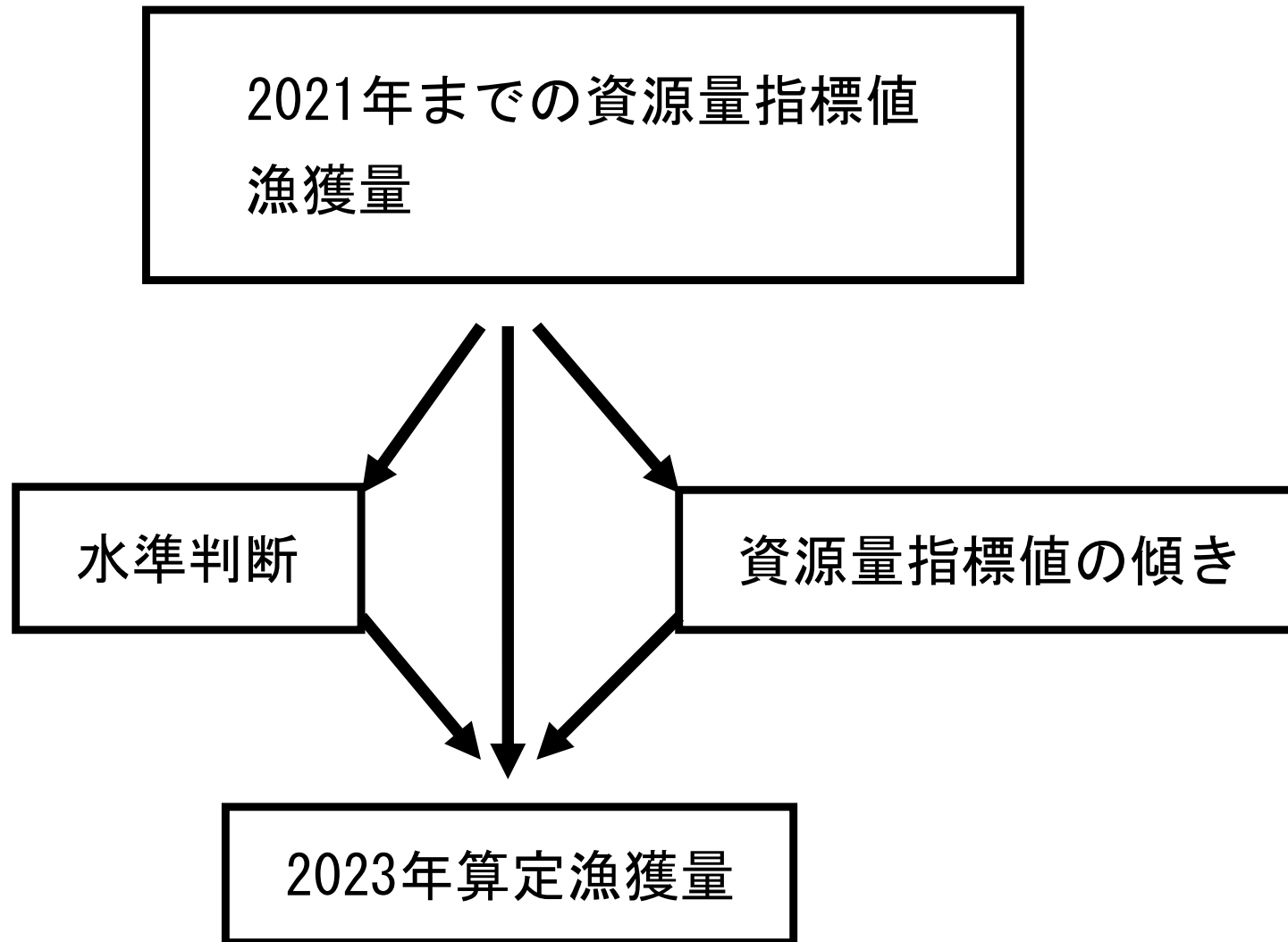
- 主漁法は沿岸漁業の延縄と刺し網
- 漁獲量は長期的にみて減少傾向
- 1986年に2,000トンを超えていた漁獲量(全漁業種合計)は、2021年は過去最低の144トン

漁獲の動向②

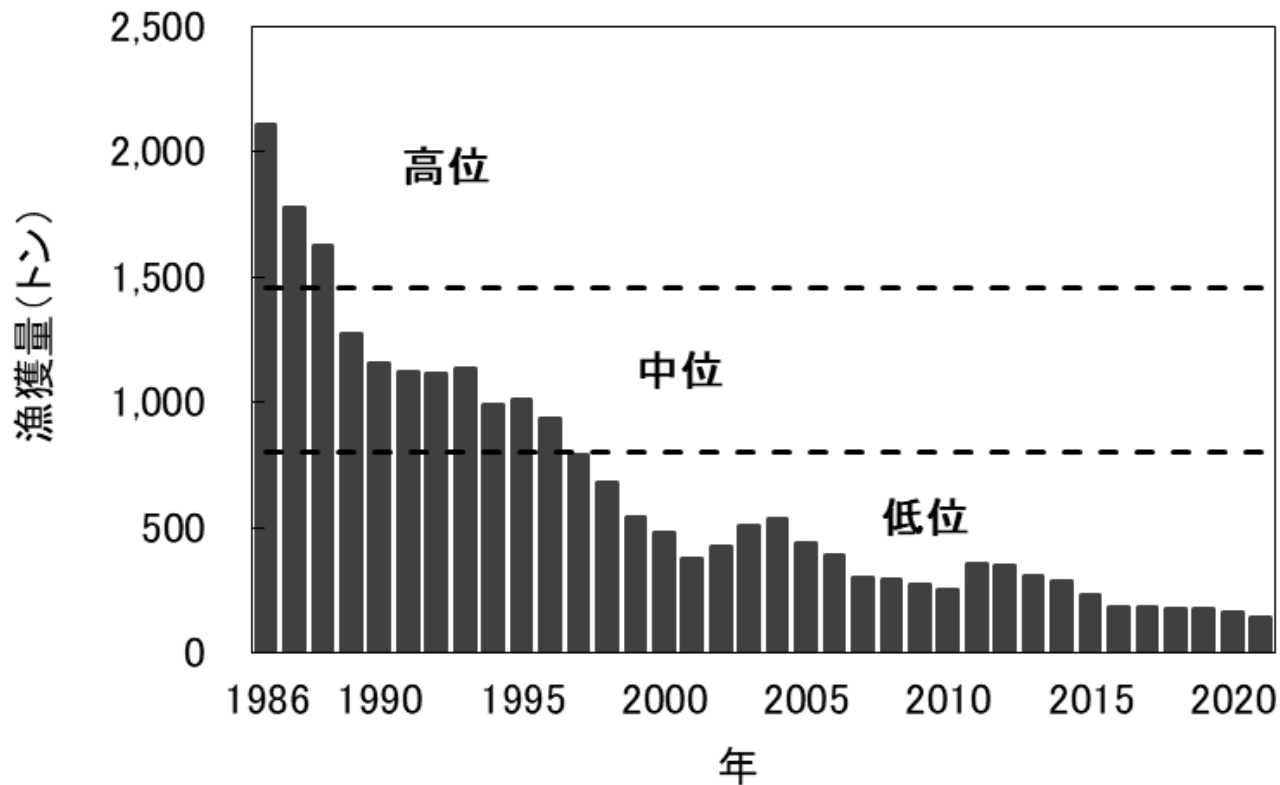


- 資源全体に対する漁獲努力量の推移は把握できていない
- オホーツク海の沿岸漁業の操業隻数は1995年以降に大幅減
- 延縄漁業の2001～2021年の操業隻数は安定して推移

資源評価の流れ



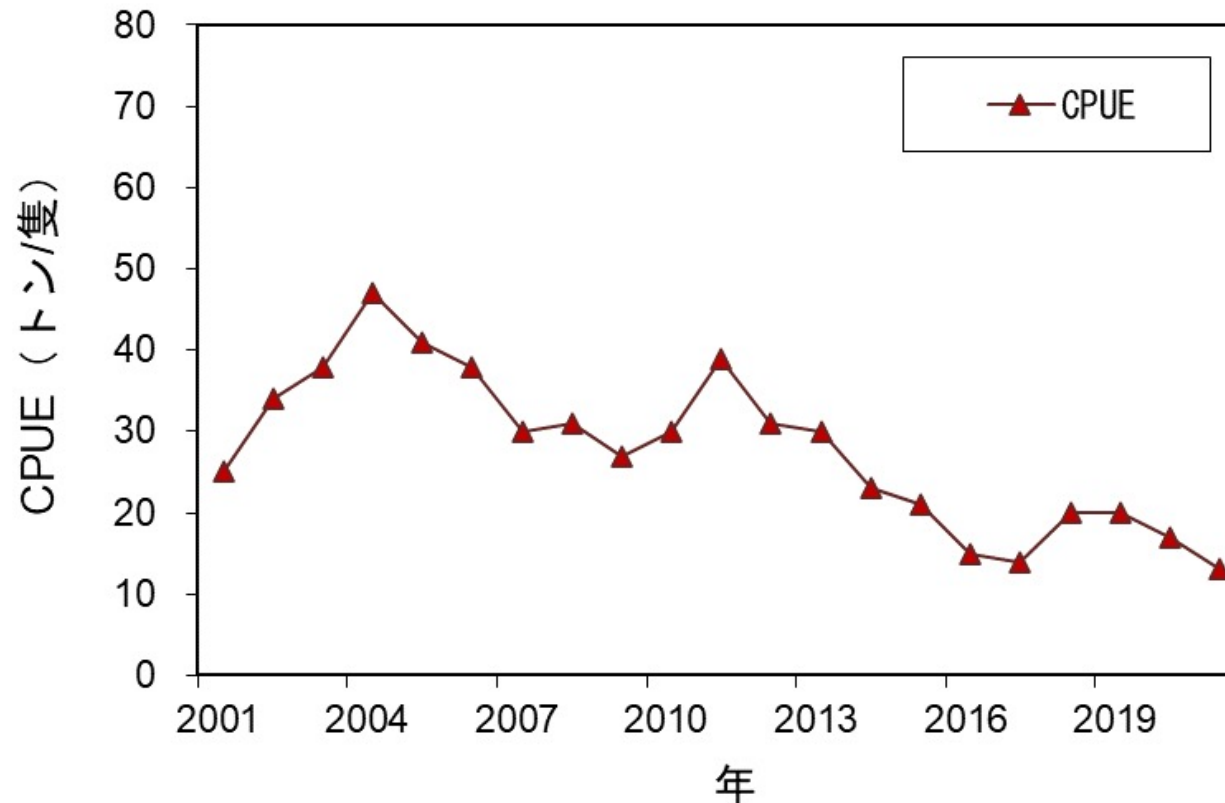
資源の動向①



※水準区分 低位／中位：漁獲量 799トン 中位／高位：漁獲量 1,454トン
(過去36年間(1986～2021年)の漁獲量の最高値～最低値を3等分して算出)

- 過去36年間(1986～2021年)の漁獲量の推移から資源水準を判断
- 資源水準：2021年の漁獲量は144トンであり「低位」

資源の動向②



- 資源量指標値（2001年以降の延縄漁業の操業隻数あたりの漁獲量（CPUE））により動向を判断
- 2021年の資源量指標値は13トン/隻
- 資源動向：直近5年間（2017～2021年）の資源量指標値の推移から「減少」

資源評価のまとめ

- キチジオホーツク海南部の資源水準は「低位」、動向は「減少」
- 漁獲量と延縄漁業のCPUEに基づいて資源状態を判断

2023年算定漁獲量

管理基準	Target/Limit	2023年算定漁獲量 (トン)	漁獲割合 (%)	F値(現状のF値からの増減%)
0.7・Cave3-yr・0.79	Target	70	—	—
	Limit	90	—	—

- またがり資源であることから、2023年算定漁獲量として提示
- ABC算定規則の2-1) により、 $ABC\ limit = \delta_1 \cdot Ct \cdot \gamma_1$ で計算
- δ_1 : 0.7 (低位水準での推奨値)
- Ct : Cave3-yr (2019~2021年の漁獲量平均値)
- γ_1 : 0.79 (資源量指標値の変動から算定される係数)